

1. 件名：安全性向上評価届出書に係る九州電力株式会社との面談

2. 日時：令和4年2月9日（水）10：30～11：30

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部原子力規制企画課 村上補佐、片桐専門職

九州電力株式会社 原子力発電本部 安全性向上グループ長 ほか9名

（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

○九州電力株式会社から、資料に基づき、安全性向上評価届出書1章（as is）の構成の見直しについて、説明があった。

○原子力規制庁から、至近の届け出の準備を妨げるものではないが、届出書における as is 情報については、現場の as is 管理で採用されている全体の資料構成がまずあって、届出にはそのうちの部分が用いられているのかを届出の段階で簡易な資料で示してはどうか、設置許可や保安規定の完本を届出に含めてはどうか、その際、設置許可の添付資料の更新をどの程度届出書の段階で反映させるべきかについては現場の実態も踏まえて引き続き意見交換が必要であろうが、そもそもこれまでの現場の不適合事案の経験を踏まえて、現場の as is 管理がどうあるべきか、については引き続き継続的な改善が図られるべきものと伝えた。

6. 配付資料：

資料1 安全性向上評価届出書1章の構成（章立て）見直しについて

以上